

今冬の需要状況について

平成28年5月31日
関西電力株式会社

最大電力と発生日の気温

奈良支社管内における今冬の最大電力実績は、奈良県の削減目標6%に対して、9.5%の削減となっており、目標を達成しております。

なお、関西電力全域については、14.0%の削減となっております。奈良支社管内より削減率が大きい要因としては、最大電力発生日(時間帯)の平均気温がH22年度と比較して+3.4℃と高く、暖房需要を引き下げたことが影響していると考えられます。

最大電力と最大電力発生日の気温

■ 最大電力 (12 ~ 3月)

(万kW)

	H22年度 (a)	H27年度 (b)	差 (c=b-a)	削減率 (-c/a)
奈良支社管内	148	134	-14	9.5%
関西電力全域	2,665	2,291	-374	14.0%

■ 最大電力発生日(時間帯)の平均気温※

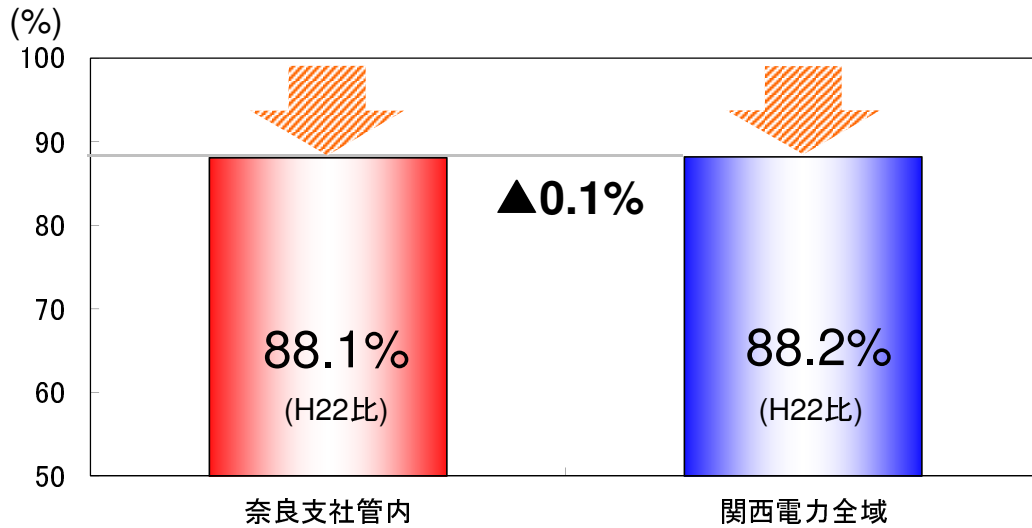
(°C)

	H22年度 (a)	H27年度 (b)	差 (b-a)
奈良支社管内	1.6 ----- H23.1.31 (18~19時)	2.1 ----- H28.1.25 (18~19時)	+0.5
関西電力全域	0.9 ----- H23.2.14 (17~18時)	4.3 ----- H28.1.25 (18~19時)	+3.4

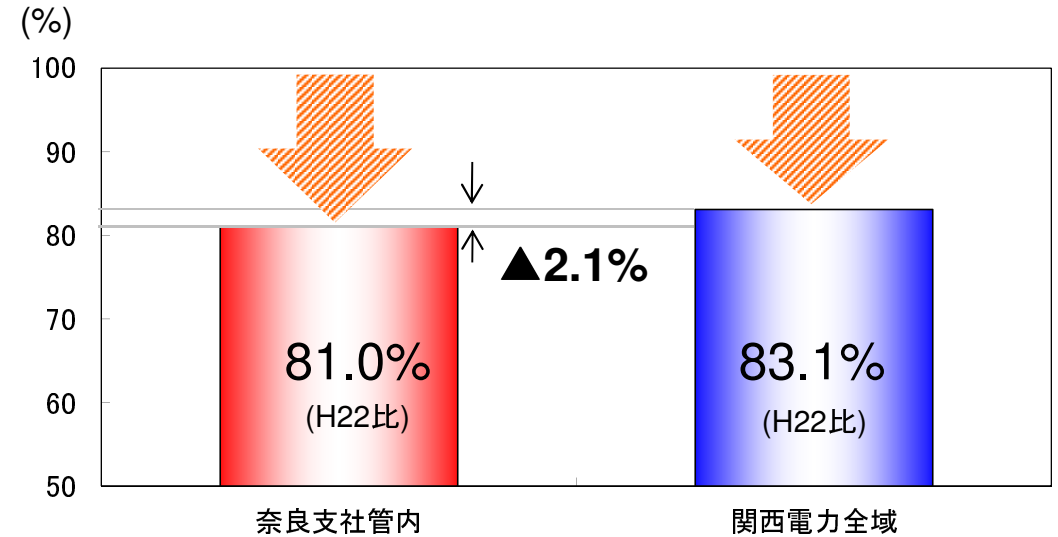
※気象庁の10分毎の値の平均値

奈良支社管内における今冬の総電力量実績をH22年度(100%)比で確認しますと、各用途で下回っております。なお、関西電力全域と比較しましても、すべての分野において下回っております。

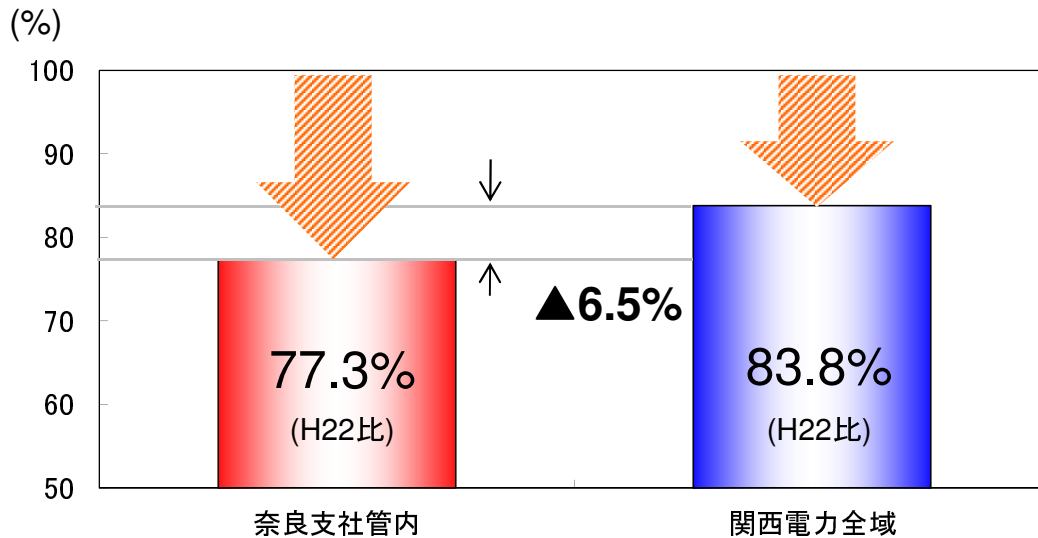
家庭用



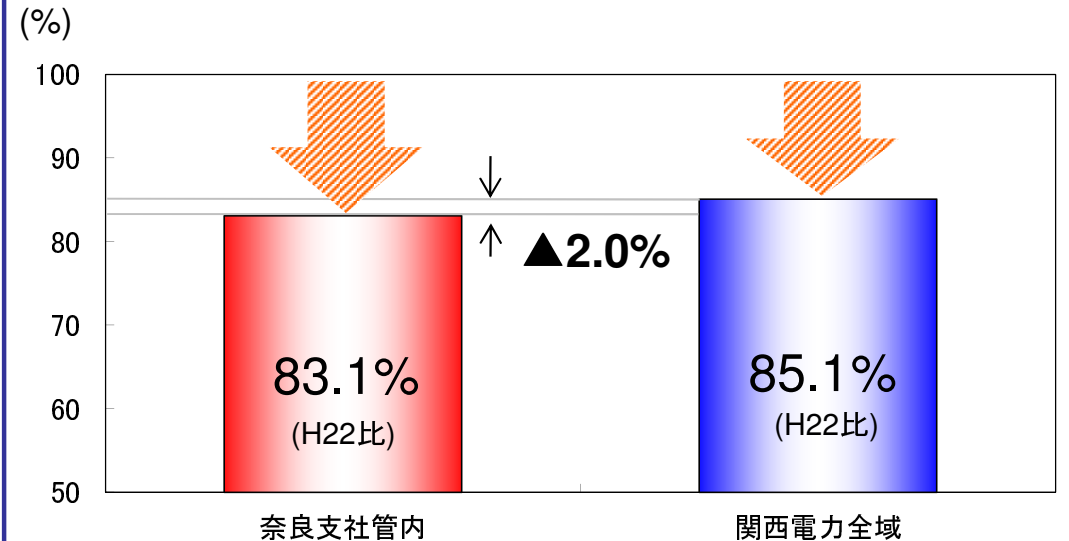
業務用



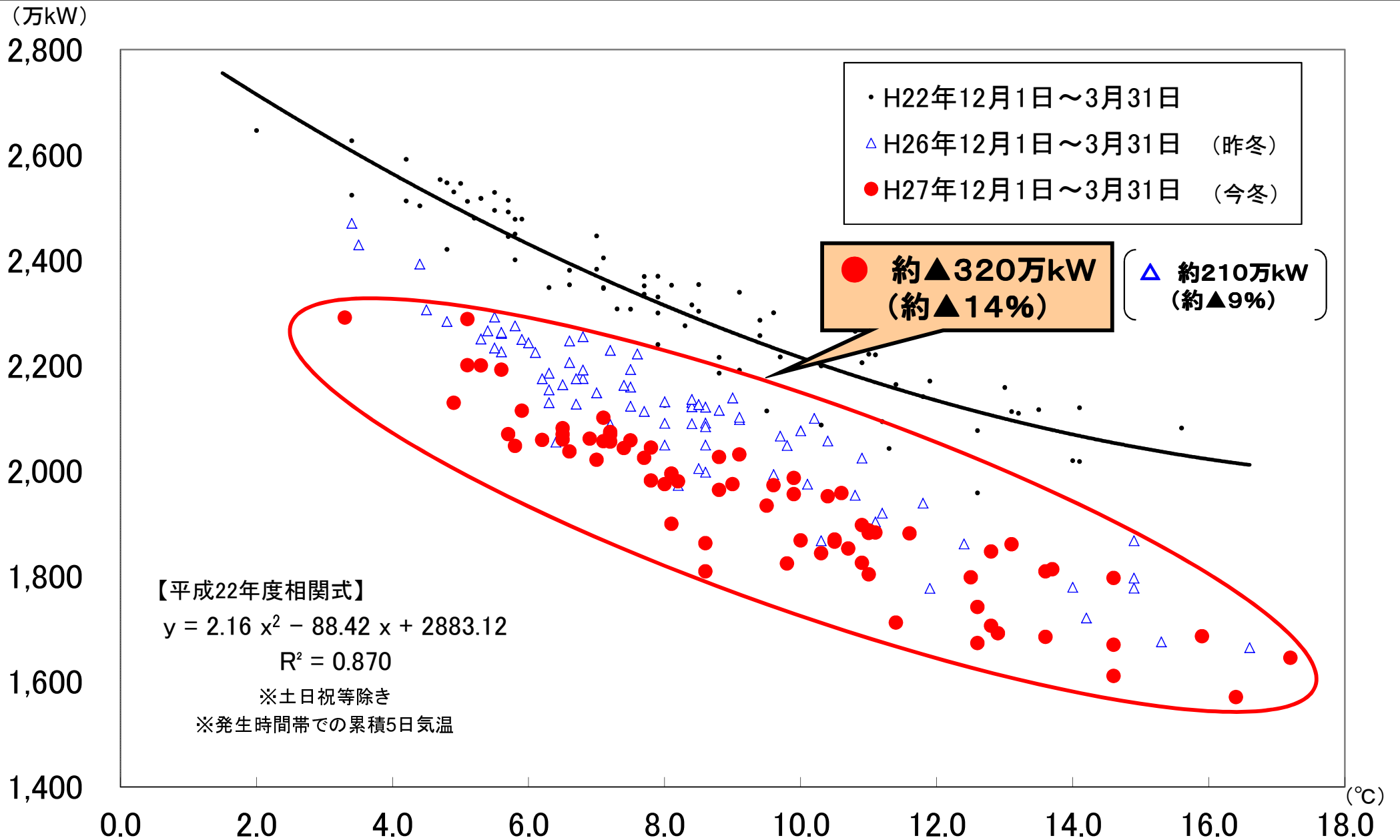
産業用



合計

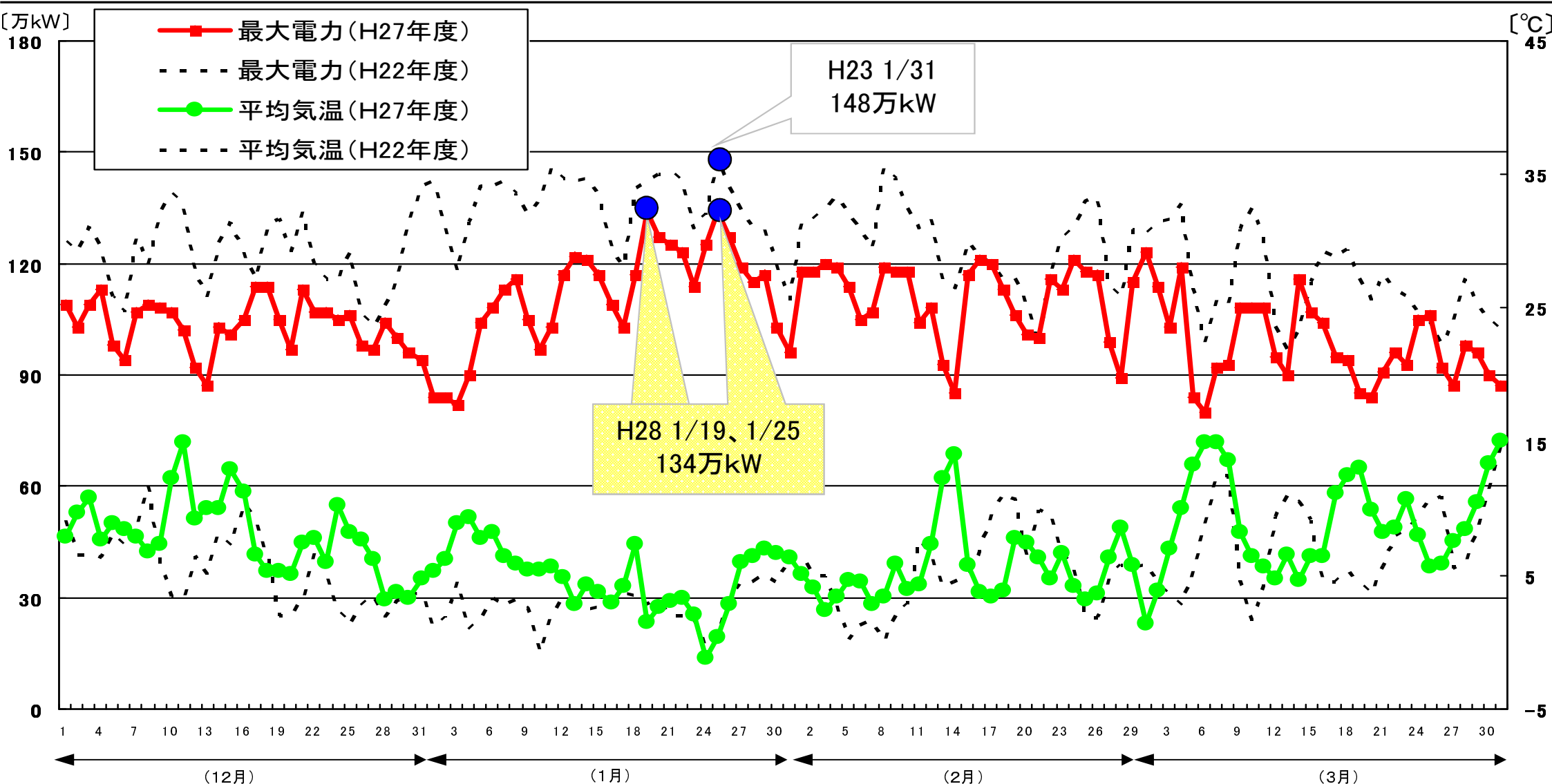


【関西電力全域】今冬の最大電力の推移[対H22年度比] 【18～19時】



関西電力全域における今冬の最大電力が発生した時間帯で確認しますと、12/1から3/31までの実績では、H22年度と比べて、平均で約320万kW(約14%)と、昨冬を上回る減少となりました。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

【奈良支社管内】平成27年度冬季最大電力の推移(12~3月)



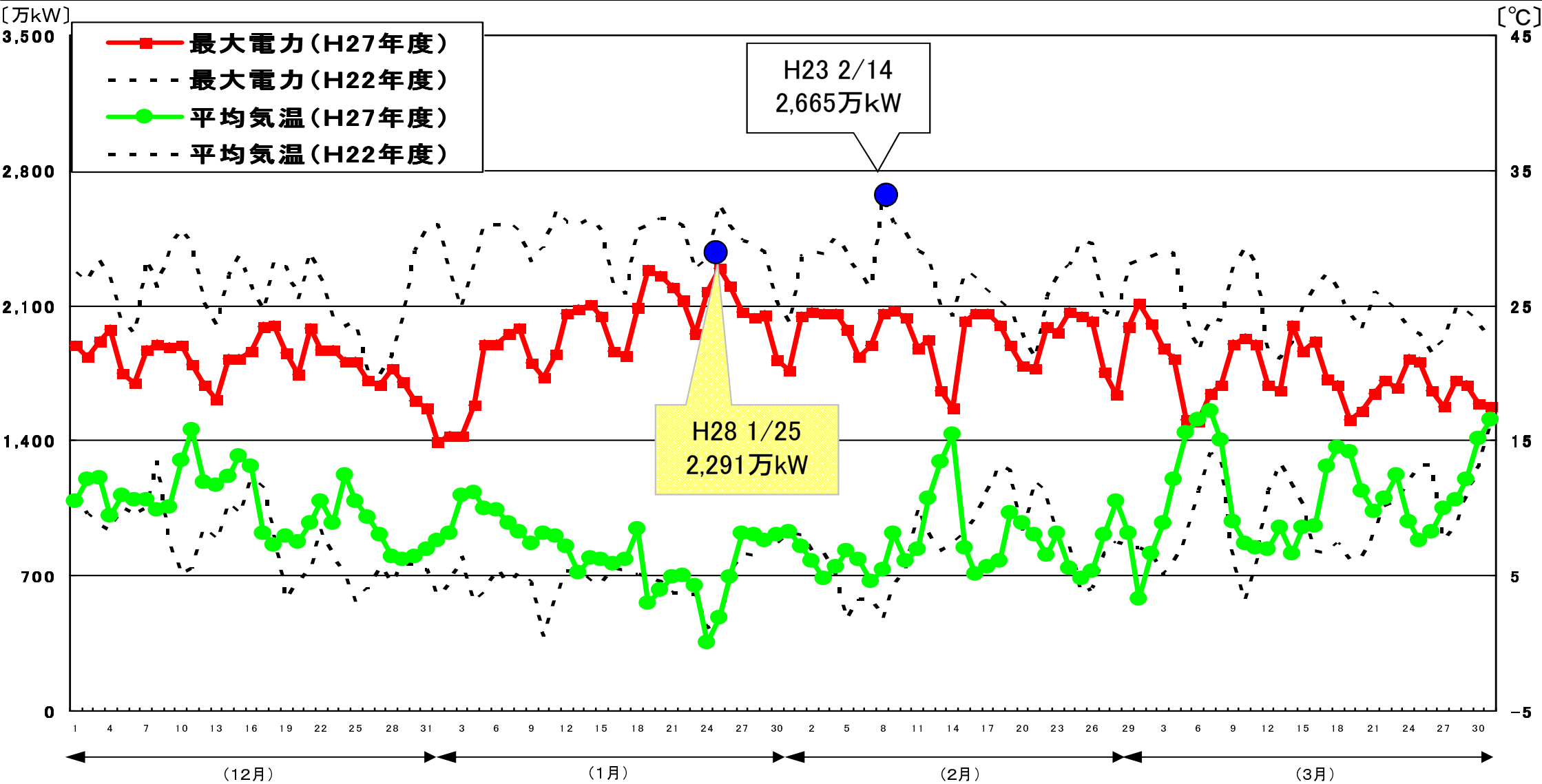
	最大電力(万kW)【日】	平均気温(°C)
H27年度	134【1/19、1/25】	6.8
H22年度	148【1/31】	5.2
差	▲14	+1.7

・最大電力、平均気温におけるH27年度・H22年度の値は、以下の期間のデータを抽出しております。

- 〔 OH27年度: 12/1(火)~3/31(木) 〕
- 〔 OH22年度: 12/7(火)~4/7(木) 〕

* 最大電力、平均気温については、四捨五入のため、増減値が合わないことがあります。

【関西電力全域】平成27年度冬季最大電力の推移(12~3月)



	最大電力(万kW)【日】	平均気温(°C)
H27年度	2,291【1/25】	8.8
H22年度	2,665【2/14】	7.2
差	▲374	+1.6

・最大電力、平均気温におけるH27年度・H22年度の値は、以下の期間のデータを抽出しております。

- H27年度: 12/1(火)~3/31(木)
- H22年度: 12/7(火)~4/7(木)

* 最大電力、平均気温については、四捨五入のため、増減値が合わないことがあります。